【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公開番号】特開2002-364663(P2002-364663A)
【公開日】平成14年12月18日(2002.12.18)
【出願番号】特願2001-169417(P2001-169417)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　1/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　15/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　1/06　E
Ｆ１６Ｈ　15/38

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月27日(2006.6.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
【従来の技術】
自動車用あるいは産業機械用の変速機として、例えば、図５に示すようなトロイダル型無段変速機が従来から知られている。
このトロイダル型無段変速機は、いわゆるダブルキャビティ型の高トルク用トロイダル型無段変速機であり、入力軸１の外周部に、入力側ディスク２、２と出力側ディスク３、３とが設けられている。入力軸１の中間部周囲には出力歯車４が回転自在に支持され、この出力歯車４の中心部に設けられた円筒状の両端部４ａ、４ａには、出力側ディスク３、３がスプライン係合されている。出力側ディスク３、３は、入力軸１との間に介在されたニードル軸受５、５によって、入力軸１の軸線Ｏを中心として回転自在に支持されている。また、入力側ディスク２、２は、入力軸１と共に回転するように、かつ入力軸１の軸線方向に変位できるように、入力軸１の両端部にボールスプライン６、６を介して支持されている。図５中左方の入力側ディスク２とカム板７との間に備えられた皿ばね８と、図５中右側の入力側ディスク２とローディングナット９との間に備えられた皿ばね１０は、各ディスク２、２、３、３の凹面２ａ、２ａ、３ａ、３ａとパワーローラ１１、１１（図６参照）の周面１１ａ、１１ａとの当接部に予圧を付与する。また、図５中左方の入力側ディスク２とカム板７との間には、ローディングカム式の押圧装置１２が備えられている。出力歯車４は、２つの部材の結合によって構成された仕切壁１３を介してハウジング１４内に支持されており、軸線Ｏを中心に回転自在とされ、かつ軸線Ｏ方向の変位が阻止されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図６】

